

### III 三浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

三浦市総合戦略は、三浦市人口ビジョンの平成72（2060）年までの将来展望を踏まえ、また、国の総合戦略を勘案し、平成27年度から平成31年度までの5年間の目標、施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

三浦市は、目標として「三浦市における安定した雇用を創出する」「三浦市への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4つを設定しました。4つの目標ごとに新たに行う重点的な取組は次のとおりです。

#### 1 三浦市における安定した雇用を創出する

まず、有配偶率の低下を背景とした出生率の低下、また、若い世代の流出が進んでいるという三浦市のいずれの状況にとっても雇用の創出が最重要課題と考え、第1の目標として「三浦市における安定した雇用を創出する」を設定しました。

特にこれまでも注力してきた観光業は入込観光客数600万人を目指した新たな取組としては、海外の旅行会社に対するトップセールスや、新規開設した三崎口駅前観光案内所運営に取り組むほか、新たな観光の核づくり推進組織への支援やかながわシープロジェクトなど、神奈川県が推進する地方創生事業にも積極的に連携して取り組んでいきます。

観光資源の一つである水産物については、安全・安心な安定供給とともに、三崎ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、三崎漁港の高度衛生管理対策に取り組めます。

また、企業誘致においては、市の大きな課題となっている二町谷地区埋立地の海業（うみぎょう：水産業の6次経済化）を中心とした地域産業育成を含めた多目的活用を目指し、地域再生計画を策定します。また、国策として注目されている日本版CCRC<sup>1</sup>を三浦市に導入することや、事業者が参入しやすい環境づくりを行い、三浦版CCRC構想を確立します。

さらに、既存産業を支えるための事業承継や起業といった創業支援について、市内の金融機関等と連携し、これまで以上に注力して取り組んでいきます。

なお、平成27年度に実施した市民アンケートにおいて、人口を増やすための方策をたずねた設問に対して回答数の最も多かった選択肢が「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」であり、また、市が最も重点的に取り組むべきことを選ぶ設問に対して回答数が最も多かった選択肢が「地域経済の振興と雇用の安定」だったことから、市民も安定した雇用創出を重視していると言えます。

#### 2 三浦市への新しいひとの流れをつくる

第2の目標である「三浦市への新しいひとの流れをつくる」では、豊かな農水産物、過ごしやすい気候、半島を囲む海や関東唯一の完結した流域生態系とされる小網代の森をはじめとした自然があることに加え、都心までのアクセスに優れた三浦市ならではのライフスタイルを発信することにより転入者増加を図ります。具体的には、産官学連携による定住促進（お試し居住）事業に新たに取り組めます。お試し居住による転入者がライフスタイルの発信を行うことで、さらなる転入者増加にもつなげます。

---

<sup>1</sup> Continuing Care Retirement Community の略。日本版 CCRC 構想は、「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すもの。（日本版 CCRC 構想有識者会議「日本版 CCRC 構想（素案）」）

また、子育て世代の転入促進のため、PPPを活用した子育て賃貸住宅の検討を行います。さらに、将来的な人口減少抑制のため、線引き見直しに向けた取組を行います。

### **3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

第3の目標である「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では、小児医療費助成を小学校6年生まで引き上げ、他市に劣後しない子育て環境づくりを進めます。

また、妊娠・出産に対する支援のため、妊婦健診助成の内容充実にも努めるほか、子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのため、(仮称)ファミリーサポートセンター事業及び(仮称)病後児保育事業を平成31年度までに開始します。

さらに、有配偶率を高めるために、神奈川県との結婚支援事業と連携し、出会いの創出を行います。なお、市民アンケートにおいて、未婚者の回答者が結婚にあたって問題や不安だと思っていることとして最も多かった「金銭的に不安がある」に次いで「出会いが少ない」「結婚したいと思える相手がない」が続いていることから、基本目標1の安定した雇用の創出に加え、出会いの創出を行います。

### **4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**

第4の目標である「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」では、人口減少社会に合った地域づくりのため、医療費抑制、高齢者支援、公共施設の老朽化対策、空き家対策に取り組みます。

新たな取組としては、高齢者の生活支援、健康増進や社会参加を目的とした県立保健福祉大学との連携事業を、高齢化率が高い三浦市ならではの取組として進めるほか、県内の市で最も高い空き家率となっている市内の空き家の実態把握を行い、その対策を行います。

## 1 基本目標 1 「三浦市における安定した雇用を創出する」

就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。

また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。

＜数値目標＞

市内事業所従業者数：平成 32(2020)年に 11,400 人  
(平成 24 (2012) 年：13,136 人)

市内に市が関与して新たに創出する雇業者数平成 31(2019)年までに 150 人  
(旧三崎高校跡地=100 人・二町谷=50 人)

### 基本的方向 1

農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取り組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。

### ▼具体的な施策

入込観光客数、観光客消費額を増加させ、観光の産業化・雇用創出を図るため、海外の旅行会社に対するトップセールス、神奈川県「新たな観光の核づくり」認定構想の推進組織である「新・観・核推進協議会」への事業実施支援、各種イベント実施（三浦国際市民マラソン、みうら夜市など）、インフラ整備（観光解説板整備、三崎口駅前観光案内所運営）などを行います。

また、神奈川県が推進する三浦半島活性化プロジェクト等とも連携します。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPI の推移       |               |               | 目標            |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                   | H24 年度        | H25 年度        | H26 年度        | H31 年度        |
| 入込観光客総数           | 5,024,500 人   | 5,388,100 人   | 5,706,900 人   | 6,234,967 人   |
| 観光客消費額            | 11,912,315 千円 | 12,553,786 千円 | 13,217,196 千円 | 14,522,077 千円 |

### 【事業】

みうら誘客プロモーション事業、国外誘客トップセールス事業、農業振興事業、観光団体育成事業、地場産品消費拡大対策事業、みうら夜市事業、地域観光振興・情報発信事業、観光解説板整備事業、インフォメーションセンター管理事業、三浦国際市民マラソン事業、三浦市東京支店事業、新たな観光の核づくり推進事業、三崎下町地区駐車場対策事業  
＜神奈川県事業＞

かながわシープロジェクトの推進、三浦半島活性化プロジェクト、三浦半島広域観光推進事業

### 基本的方向 2

市内への企業誘致に取り組むとともに、新規や既存の事業者の経営支援や企業間交流の機会づくりなど、営業を継続しやすい環境を整備し、事業活動の活性化を図ります。

#### ▼具体的な施策

新たな雇用を創出し、地域を活性化させるため、幅広い業種を対象として二町谷地区埋立地への企業誘致に取り組むとともに、旧三崎中学校跡地等の利活用を進めます。

なお、二町谷地区埋立地については、地域再生計画を策定し、多目的活用を図ります。

また、既存産業を支えるための事業承継や起業家に対する創業支援策の実施及び日本版 CCRC の三浦市への導入について検討を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPI の推移 |        |        | 目標           |
|-------------------|---------|--------|--------|--------------|
|                   | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度       |
| 企業誘致件数            | 0 件     | 2 件    | 0 円    | 5 件 (H27~31) |

#### 【事業】

持続可能な企業等誘致プロモーション事業、(仮称) 市民交流拠点整備事業、三浦版 CCRC 構想検討調査事業、中小企業信用保証料補助事業、(仮称) 創業支援・事業承継事業、(仮称) 三崎中学校校舎跡地の活用検討

### 基本的方向 3

漁港整備や経営支援などの、水産業従事者への各種支援を通じて、基幹産業である水産業の活力を維持し、市内における水産物の取扱量を維持・拡大します。

#### ▼具体的な施策

市内漁港の取扱金額の向上を図り、漁業及びその関連産業を活性化するため、安全・安心な安定供給とともに、三崎ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、国・県・関係団体と連携し、三崎漁港の高度衛生管理化を進めるとともに、漁業収入向上に向けて策定している「浜の活力再生プラン」の推進に資する取組に対する支援などを実施します。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPI の推移       |               |               | 目標            |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                   | H24 年度        | H25 年度        | H26 年度        | H31 年度        |
| 市内漁港取扱金額          | 15,292,182 千円 | 14,626,620 千円 | 13,579,513 千円 | 14,620,402 千円 |

#### 【事業】

浜の活力再生プラン等支援事業、三崎漁港整備事業、市営漁港整備事業、市場高度衛生管理化対策事業

### 基本的方向 4

良好な農地の整備・維持管理、流通システム環境整備、ブランド開発支援等により農業生産性を維持・向上させます。

▼具体的な施策

農業産出額を維持するため、諸磯・小網代・初声町和田・初声町高円坊の畑地かんがい施設、農道、排水路の総合的な整備や有害鳥獣被害対策への取組みなどにより営農環境の改善を図るとともに、三浦市農業後継者対策実行委員会が実施する男女農業者と都市在住者との農業体験型交流イベントの開催を支援し農業後継者不足の改善を図ります。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPI の推移      |              |              | 目標           |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|                   | H24 年度       | H25 年度       | H26 年度       | H31 年度       |
| 農業産出額             | 7,145,822 千円 | 6,705,298 千円 | 6,354,228 千円 | 6,354,228 千円 |

【事業】

三浦野菜安全・安心事業、諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業、農とみどりの整備事業、有害鳥獣被害対策事業、環境保全型農業支援事業、初声及び南下浦地区畑地帯総合整備事業、農業の多面的機能促進事業、農業後継者対策事業、青年就農給付金事業

基本的方向 5

魅力的な商店街づくりや中小企業の創意工夫など商工業者自身による経営努力を支援するとともに、経営安定化や雇用維持のための公的支援策を通じて地元雇用の場としての商業・工業の活力を維持・向上させます。

▼具体的な施策

商工サービス業の振興を図るため、地域経済の活性化を担う商工会議所への助成、建築業の人材育成を行っている建築職業訓練校への助成、及び市内まちおこし団体への支援等を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPI の推移 |        |        | 目標     |
|-------------------|---------|--------|--------|--------|
|                   | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度 |
| 商業・工業従業者数         | 797 人   | 769 人  | 750 人  | 695 人  |

【事業】

地域活性化事業、商工団体育成事業、勤労者福利共済融資預託事業、中小企業退職金共済掛金補助事業、住宅リフォーム助成事業

## 2 基本目標2「三浦市への新しいひとの流れをつくる」

三浦市らしいライフスタイルの発信や、若年世帯から中高齢世帯までがそれぞれの志向にあった住宅を選択できるような特色のある多様な住宅地の整備に取り組み、転出抑制、転入促進を図ります。

<数値目標>

社会減：177人（平成28(2016)年～平成32(2020)年）に抑制。  
（平成21(2009)年～平成25(2013)年は、社会減1,040人）

### 基本的方向1

三浦市に居住したい、又は居住し続けたいと考える人のニーズにあった宅地供給や住宅地整備の実現に向けた支援を行うとともに、自然的土地利用と都市的土地利用のバランスのとれたまちづくり、転入・定住支援策によって、市内への転入促進・転出抑制を図ります。

#### ▼具体的な施策

転入促進のため、産官学連携による市内の空き物件を利用したお試し居住の実施や、市民の行う移住促進イベントの支援により、ライフスタイルに応じた移住の提案を行うほか、神奈川県の実施する移住セミナー等の移住策を連携して行います。

子育て世代の転入促進のため、PPPを活用した子育て賃貸住宅の検討を行います。

また、将来的な人口減少抑制のため、線引き見直しに向けた取り組みや、三戸小網代土地区画整理事業の準備事業（三戸地区発生土処分場建設事業）の支援を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)       | KPIの推移 |       |       | 目標             |
|-------------------------|--------|-------|-------|----------------|
|                         | H24年度  | H25年度 | H26年度 | H31年度          |
| 住宅地整備関連事業の進捗率           | 30.5%  | 42.0% | 50.7% | 100%           |
| 定住促進（お試し居住）事業により移住した世帯数 | -      | -     | -     | 3世帯<br>(H27年度) |

#### 【事業】

定住促進（お試し居住）事業、市民が取り組む三浦ファン交流事業、三戸小網代土地区画整理支援事業、線引き見直し事業、都市計画推進事業、子育て賃貸住宅の検討

### 3 基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。

#### <数値目標>

合計特殊出生率 平成 32(2020)年に 1.34  
(平成 25 (2013) 年 : 1.09)

#### 基本的方向1

子育てに関する情報の一体的な発信や総合窓口の設置等により、安心して子育てができる環境を整備し、子育て世帯の定住を維持します。

#### ▼具体的な施策

子育て世帯を支援し、定住を図るため、小児が医療機関を受診した際の自己負担額（保険適用分）を全額助成することにより子育て世帯の経済的負担を軽減します。なお、平成 26 年度には小学校 4 年生までだった対象者を平成 28 年度には小学校 6 年生まで引き上げます。

また、幼稚園・保育園に対し、園児が使用する遊具・教材を購入する費用の助成及び保護者向けの子育て支援プログラムを実施します。

妊娠・出産に対する支援については、妊婦検診助成の内容充実に努めます。

| KPI<br>(重要業績評価指標)      | KPI の推移  |         |         | 目標      |
|------------------------|----------|---------|---------|---------|
|                        | H24 年度   | H25 年度  | H26 年度  | H31 年度  |
| 15 歳未満の子どもの数           | 5,005 人  | 4,772 人 | 4,430 人 | 4,018 人 |
| 子育て支援センター利用者・育児サークル参加者 | 10,188 人 | 9,774 人 | 9,199 人 | 7,839 人 |

#### 【事業】

小児医療費助成事業（市単独分）、保育・教育環境充実事業、児童虐待防止事業、次世代育成支援事業、妊婦健康診査事業、

#### 基本的方向2

生活実情にあわせた多様な働き方ができる社会づくりのための啓発や保育サービスを通じて、子育て世代のワークライフバランスを実現させます。

#### ▼具体的な施策

子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのため、(仮称)ファミリーサポートセンター事業及び(仮称)病後児保育事業を平成 31 年度までに開始します。また、放課後児童クラブの運営に対する補助や男女共同参画社会についての研修・啓発を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)                     | KPI の推移 |        |        | 目標     |
|---------------------------------------|---------|--------|--------|--------|
|                                       | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度 |
| 未就学児・児童をもつ成人女性の就業率<br>(2 世代(親子)世帯に限る) | 18.7%   | 18.5%  | 29.8%  | 35.0%  |

**【事業】**

放課後児童健全育成事業、女性行政事業、(仮称)病後児保育事業、(仮称)ファミリーサポートセンター事業

**基本的方向 3**

結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、出会いの創出等を通じ、結婚の希望をかなえる支援を行います。

**▼具体的な施策**

県内市町村の中で低い水準にある有配偶率を高めるため、神奈川県内の結婚支援事業と連携し、出会いの創出を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)        | KPI の推移 |        |        | 目標     |
|--------------------------|---------|--------|--------|--------|
|                          | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度 |
| 「恋カナ！プロジェクト」と連携した市内イベント数 | —       | —      | —      | 年 2 回  |

**【事業】**

<神奈川県事業>  
恋カナ！プロジェクト

**基本的方向 4**

郷土三浦を愛する心を育むため海洋教育の推進等、地域と連携した教育を進めます。  
児童・生徒にとってわかりやすい授業など、興味を高める特色のある学習環境を充実し、授業に対する満足度を向上させます。

**▼具体的な施策**

三浦市に住み続け、転出しても戻ってきてももらえるよう郷土三浦への愛着を高めるため、東京大学三崎臨海実験所と連携して開発した教材を活用し、三浦らしい海洋教育を行います。

分かりやすい授業を行うため、学校教育の実践や研究に対する支援による教員の資質向上や、教育活動に必要な調査研究による指導の充実を図ります。

さらに、学習環境の充実のため、学校の適正配置について検討を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)  | KPI の推移 |                          |                          | 目標                       |
|--|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|  | H24 年度  | H25 年度                   | H26 年度                   | H31 年度                   |
| 全国学力・学習状況調査における「地域社会への関心度（愛着度）」に関する設問で、「当てはまる」とした児童・生徒の率 | —       | (小学校)47.8%<br>(中学校)34.5% | (小学校)54.7%<br>(中学校)41.0% | (小学校)55.5%<br>(中学校)43.0% |
| 学校評価に係るアンケートで「授業が分かりやすかった」という評価                          | —       | 80.5%                    | 79.8%                    | 82.0%                    |

**【事業】**

海洋教育等地域教材開発事業、国際理解教育の推進事業、教育研究所事業、学校の適正配置の検討

## 4 基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。

また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った地域づくりを行います。

### 基本的方向1

病気の予防、早期発見機会の充足及び健康診査等、市民の健康や体力の増進策を講じることにより保健医療にかかる社会コストを抑制します。

#### ▼具体的な施策

がん検診事業、成人歯科健康診査事業、健康診査事業、特定健康診査等事業などによる病気の予防・健康増進策により市民の健康力を増進し、保険2会計全体の1人あたり給付費を抑制します。

| KPI<br>(重要業績評価指標) | KPIの推移   |          |          | 目標       |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|
|                   | H24年度    | H25年度    | H26年度    | H31年度    |
| 保険2会計全体の1人あたり給付費  | 451,041円 | 469,354円 | 489,316円 | 561,657円 |

#### 【事業】

がん検診事業、成人歯科健康診査事業、健康診査事業（一般）、特定健康診査等事業、健康診査事業（国保）

### 基本的方向2

高齢者が在宅のまま安心して生活を営める環境を整備するとともに、適切な介護認定と介護予防の普及・啓発及び在宅介護サービスの充実等により、施設入所を必要とする要介護者の増加を抑制します。

#### ▼具体的な施策

介護施設入所者割合を抑制するため、介助者支援や認知症高齢者の支援、はり・きゅう・マッサージ助成券及び寝たきり高齢者出張理容・美容サービス利用券の助成などを行います。

また、高齢者の生活支援、健康増進や社会参加を目的に、県立保健福祉大学と連携し、高齢者の生活実態の問題点の調査による地域ニーズの把握、社会実装型の製品サービス開発拠点（リビングラボラトリー）での企業と地域課題のニーズ・シーズマッチングや未病を治すための健康指導教室等を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)               | KPI の推移 |        |        | 目標     |
|---------------------------------|---------|--------|--------|--------|
|                                 | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度 |
| 介護施設入所者割合<br>(入所者数/介護被<br>保険者数) | 2.5%    | 2.6%   | 2.6%   | 2.6%   |

**【事業】**

高齢者福祉サービス事業、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業、家族介護支援事業、三浦を元気にするリビングラボラトリー

**基本的方向 3**

市有財産について管理コストと貸付料等収入とのバランスがとれた適切で効率的な管理・運用を実践します。

▼具体的な施策

市有財産の老朽化対策として、公共施設の維持管理を図るため、平成 28 年度に公共施設総合管理計画を策定し、計画を推進します。

| KPI<br>(重要業績評価指標)                                | KPI の推移 |        |        | 目標               |
|--|---------|--------|--------|------------------|
|  | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度           |
| 公共施設総合管理計画の策定 (28 年度。29 年度以降の KPI は、28 年度中に設定予定) | 未策定     | 未策定    | 未策定    | 策定<br>(平成 28 年度) |

**【事業】**

公共施設総合管理計画策定事業

**基本的方向 4**

市内に所在する空き家について、空家対策特措法を踏まえ、対策を行います。

▼具体的な施策

空き家の実態把握のための調査及び適正に管理されていない空き家の対策を行います。

| KPI<br>(重要業績評価指標)  | KPI の推移 |        |        | 目標                 |
|--------------------|---------|--------|--------|--------------------|
|                    | H24 年度  | H25 年度 | H26 年度 | H31 年度             |
| 適正に管理されていない空き家の減少率 | —       | —      | —      | —4%<br>(平成 27 年度比) |

**【事業】**

空き家等実態調査事業

## 5 PDCA サイクル

策定した総合戦略は、毎年進捗管理を内部評価として実施するとともに、その結果を踏まえて外部評価委員会による進捗評価を実施します。評価の結果は、次年度の予算編成、地方創生に係る交付金の申請に反映し、戦略の見直しを行います。

最終年次には、外部評価委員会による達成評価を実施し、その評価結果を踏まえ、次期総合戦略(新戦略)の策定を行う予定です。

付表 総合戦略の体系図

| 基本目標   | (数値目標)   | 基本的方向   | 具体的な施策   | KPI<br>(Key Performance Indicator)<br>重要業績評価指標  | H26<br>(基準年)  | 目標数値<br>(31年まで) | 単位            | 事業名 |                         |            |            |  |  |  |  |   |
|--|--|---|--|---|---------------|-----------------|---------------|-----|-------------------------|------------|------------|--|--|--|--|---|
| <b>基本目標1:「三浦市における安定した雇用を創出する」</b><br>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。<br>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。 | 数値目標1:<br>市内事業所従業者数:平成32(2020)年に11,400人(平成24(2012)年:13,136人)<br>数値目標2:<br>市内に市が関与して新たに創出する雇用者数平成31(2019)年までに150人(旧三崎高校跡地=100人・二町谷=50人) | 農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。  | 入込観光客数、観光客消費額を増加させ、観光の産業化・雇用創出を図るため、海外の旅行会社に対するトップセールス、神奈川県「新たな観光の核づくり」認定構想の推進組織である「新・観・核推進協議会」への事業実施支援、各種イベント実施(三浦国際市民マラソン、みうら夜市など)、インフラ整備(観光解説板整備、三崎口駅前観光案内所運営)を行います。<br>また、神奈川県が推進する三浦半島活性化プロジェクト等とも連携します。                            | <table border="1"> <tr> <td>入込観光客総数</td> <td>5,706,900</td> <td>6,234,967</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>観光客消費額</td> <td>13,217,196</td> <td>14,522,077</td> <td>千円</td> </tr> </table>     | 入込観光客総数       | 5,706,900       | 6,234,967     | 人   | 観光客消費額                  | 13,217,196 | 14,522,077 | 千円   |  |  |  | みうら誘客プロモーション事業<br>国外誘客トップセールス事業<br>農業振興事業<br>観光団体育成事業<br>地場産品消費拡大対策事業<br>みうら夜市事業<br>地域観光振興・情報発信事業<br>観光解説板整備事業<br>インフォメーションセンター管理事業<br>三浦国際市民マラソン事業<br>三浦市東京支店事業<br>新たな観光の核づくり推進事業<br>三崎下町地区駐車場対策事業<br>【神奈川県】かながわシープロジェクトの推進<br>【神奈川県】三浦半島活性化プロジェクト<br>【神奈川県】三浦半島広域観光推進事業 |
| 入込観光客総数  | 5,706,900  | 6,234,967   | 人  |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
| 観光客消費額   | 13,217,196   | 14,522,077  | 千円   |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
|  |  | 市内への企業誘致に取り組むとともに、新規や既存の事業者の経営支援や企業間交流の機会づくりなど、営業を継続しやすい環境を整備し、事業活動の活性化を図ります。   | 新たな雇用を創出し、地域を活性化させるため、幅広い業種を対象として二町谷地区埋立地への企業誘致に取り組むとともに、旧三崎中学校跡地等の利活用を進めます。<br>なお、二町谷地区埋立地については、地域再生計画を策定し、多目的活用を図ります。<br>また、既存産業を支えるための事業継承や起業家に対する創業支援策の実施及び日本版CCRCの三浦市への導入について検討を行います。   | <table border="1"> <tr> <td>企業誘致件数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>件</td> </tr> </table>   | 企業誘致件数        | 0               | 5             | 件   |                         |            |            | 持続可能な企業等誘致プロモーション事業<br>(仮称)市民交流拠点整備事業<br>三浦版CCRC構想検討調査事業<br>中小企業信用保証料補助事業<br>(仮称)創業支援・事業継承事業<br>(仮称)三崎中学校校舎跡地の活用検討                         |  |  |  |   |
| 企業誘致件数   | 0  | 5   | 件  |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
|  |  | 漁港整備や経営支援などの、水産業従事者への各種支援を通じて、基幹産業である水産業の活力を維持し、市内における水産物の取扱量を維持・拡大します。   | 市内漁港の取扱金額の向上を図り、漁業及びその関連産業を活性化するため、安全・安心な安定供給とともに、三浦ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、国・県・関係団体と連携し、三崎漁港の高度衛生管理を進めるとともに、漁業収入向上に向けて策定している「浜の活力再生プラン」の推進に資する取組に対する支援などを実施します。  | <table border="1"> <tr> <td>市内漁港取扱金額</td> <td>13,579,513</td> <td>14,620,402</td> <td>千円</td> </tr> </table>  | 市内漁港取扱金額      | 13,579,513      | 14,620,402    | 千円  |                         |            |            | 浜の活力再生プラン等支援事業<br>三崎漁港整備事業<br>市営漁港整備事業<br>市場高度衛生管理対策事業   |  |  |  |   |
| 市内漁港取扱金額   | 13,579,513   | 14,620,402  | 千円   |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
|  |  | 良好な農地の整備・維持管理、流通システム環境整備、ブランド開発支援等により農業生産性を維持・向上させます。   | 農業産出額を維持するため、諸磯・小網代・初声町和田・初声町高円坊の畑かんがい施設、農道、排水路の総合的な整備や有害鳥獣被害対策への取組みなどにより営農環境の改善を図るとともに、三浦市農業後継者対策実行委員会が実施する男女農業者と都市在住者との農業体験型交流イベントの開催を支援し農業後継者不足の改善を図ります。  | <table border="1"> <tr> <td>農業産出額</td> <td>6,354,228</td> <td>6,354,228</td> <td>千円</td> </tr> </table>   | 農業産出額         | 6,354,228       | 6,354,228     | 千円  |                         |            |            | 三浦野菜安全・安心事業<br>諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業<br>農とみどりの整備事業<br>有害鳥獣被害対策事業<br>環境保全型農業支援事業<br>初声及び南下浦地区畑地帯総合整備事業<br>農業の多面的機能促進事業<br>農業後継者対策事業<br>青年就農給付金事業 |  |  |  |   |
| 農業産出額  | 6,354,228  | 6,354,228   | 千円   |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
|  |  | 魅力的な商店街づくりや中小企業の創意工夫など商工業者自身による経営努力を支援するとともに、経営安定化や雇用維持のための公的支援策を通じて地元雇用の場としての商業・工業の活力を維持・向上させます。                         | 商工サービス業の振興を図るため、地域経済の活性化を担う商工会議所への助成、建築業の人材育成を行っている建築職業訓練校への助成、及び市内まちおこし団体への支援等を行います。  | <table border="1"> <tr> <td>商業・工業従業者数</td> <td>750</td> <td>695</td> <td>人</td> </tr> </table>  | 商業・工業従業者数     | 750             | 695           | 人   |                         |            |            | 地域活性化事業<br>商工団体育成事業<br>勤労者福利共済融資預託事業<br>中小企業退職金共済掛金補助事業<br>住宅リフォーム助成事業   |  |  |  |   |
| 商業・工業従業者数  | 750  | 695   | 人  |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
| <b>基本目標2:「三浦市への新しいひとの流れをつくる」</b><br>三浦市らしいライフスタイルの発信や、若年世帯から中高齢世帯までがそれぞれの志向にあった住宅を選択できるよう特色のある多様な住宅地の整備に取り組み、転出抑制、転入促進を図ります。   | 数値目標:社会減:177人(平成28(2016)年~平成32(2020)年)に抑制。(平成21(2009)年~平成25(2013)年は、社会減1,040人)   | 三浦市に居住したい、又は居住し続けたいと考える人のニーズにあった宅地供給や住宅地整備の実現に向けた支援を行うとともに、自然的土地利用と都市的土地利用のバランスのとれたまちづくり、転入・定住支援策によって、市内への転入促進・転出抑制を図ります。 | 転入促進のため、産官学連携による市内の空き物件を利用したお試し居住の実施や、市民の行う移住促進イベントの支援により、ライフスタイルに応じた移住の提案を行うほか、神奈川県の実施する移住セミナー等の移住策を連携して行います。<br>子育て世代の転入促進のため、PPPを活用した子育て賃貸住宅の検討を行います。<br>また、将来的な人口減少抑制のため、線引き見直しに向けた取り組みや、三戸小網代土地区画整理事業の準備事業(三戸地区発生土処分場建設事業)の支援を行います。 | <table border="1"> <tr> <td>住宅地整備関連事業の進捗率</td> <td>50.7</td> <td>平成31年度までに100%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>定住促進(お試し居住)事業により移住した世帯数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>世帯</td> </tr> </table> | 住宅地整備関連事業の進捗率 | 50.7            | 平成31年度までに100% | %   | 定住促進(お試し居住)事業により移住した世帯数 | 0          | 3          | 世帯   |  |  |  | 定住促進(お試し居住)事業<br>市民が取り組む三浦ファン交流事業<br>三戸小網代土地区画整理支援事業<br>線引き見直し事業<br>都市計画推進事業<br>子育て賃貸住宅の検討  |
| 住宅地整備関連事業の進捗率  | 50.7   | 平成31年度までに100%   | %  |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |
| 定住促進(お試し居住)事業により移住した世帯数  | 0  | 3   | 世帯   |   |               |                 |               |     |                         |            |            |  |  |  |  |   |

| 基本目標  | (数値目標)   | 基本的方向  | 具体的な施策   | KPI<br>(Key Performance Indicator)<br>重要業績評価指標  | H26<br>(基準年)  | 目標数値<br>(31年まで)   | 単位  | 事業名   |
|---|--|--|--|---|---|---|---|---|
| <b>基本目標3:「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」</b><br>三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。 | 数値目標:合計特殊出生率<br>平成32(2020)年に1.34:(平成25(2013)年:1.09)  | 子育てに関する情報の一体的な発信や総合窓口の設置等により、安心して子育てができる環境を整備し、子育て世帯の定住を維持します。   | 子育て世帯を支援し、定住を図るため、小児が医療機関を受診した際の自己負担額(保険適用分)を全額助成することにより子育て世帯の経済的負担を軽減します。なお、平成26年度には小学校4年生までだった対象者を平成28年度には小学校6年生まで引き上げます。<br>幼稚園・保育園に対し、園児が使用する遊具・教材を購入する費用の助成及び保護者向けの子育て支援プログラムを実施します。<br>また、妊娠・出産に対する支援については、妊婦検診助成の内容充実に努めます。 | 15歳未満の子どもの数<br>子育て支援センター利用者・育児サークル参加者   | 4,430<br>9,199  | 4,018<br>7,839  | 人<br>人  | 小児医療費助成事業(市単独分)<br>保育・教育環境充実事業<br>児童虐待防止事業<br>次世代育成支援事業<br>妊婦健康診査事業 |
|   |  | 生活実情にあわせた多様な働き方ができる社会づくりのための啓発や保育サービスを通じて、子育て世代のワークライフバランスを実現させます。   | 子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのため、(仮称)ファミリーサポートセンター事業及び(仮称)病後児保育事業を平成31年度までに開始します。また、放課後児童クラブの運営に対する補助や男女共同参画社会についての研修・啓発を行います。  | 未就学児・児童をもつ成人女性の就業率(2世代(親子)世帯に限る)  | 29.8  | 35.0%   | 放課後児童健全育成事業<br>女性行政事業<br>(仮称)病後児保育事業<br>(仮称)ファミリーサポートセンター事業 |   |
|   |  | 結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、出会いの創出等を通じ、結婚の希望をかなえる支援を行います。   | 県内市町村の中で低い水準にある有配偶率を高めるため、神奈川県との結婚支援事業と連携し、出会いの創出を行います。  | 「恋カナ!プロジェクト」と連携した市内イベント数  | -   | 年2回   | 【神奈川県】恋カナ!プロジェクト  |   |
|   |  | 郷土三浦を愛する心を育むため海洋教育の推進等、地域と連携した教育を進めます。<br>児童・生徒にとってわかりやすい授業など、興味を高める特色のある学習環境を充実し、授業に対する満足度を向上させます。  | 三浦市に住み続け、転出しても戻ってきもらえるよう郷土三浦への愛着を高めるため、東京大学三崎臨海実験所と連携して開発した教材を活用する三浦らしい海洋教育や、地域、地元団体、民間企業等と連携した地域学習を行います。<br>分かりやすい授業を行うため、学校教育の実践や研究に対する支援による教員の資質向上や、教育活動に必要な調査研究による指導の充実を図ります。<br>さらに、学習環境の充実のため、学校の適正配置について検討を行います。            | 全国学力・学習状況調査における「地域社会への関心度(愛着度)」に関する設問で、「当てはまる」とした児童・生徒の率<br>学校評価に係るアンケートで「授業が分かりやすかった」という評価 | 小学校54.7%<br>中学校41.0%  | 小学校55.5%<br>中学校43.0%  | %<br>%  | 海洋教育等地域教材開発事業<br>国際理解教育の推進事業<br>教育研究所事業<br>学校の適正配置の検討               |
|   |  | <b>基本目標4:「時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」</b><br>生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。<br>また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った地域づくりを行います。 | 病気の予防、早期発見機会の充足及び健康診査等、市民の健康や体力の増進策を講じることで、より保健医療にかかる社会コストを抑制します。  | がん検診事業、成人歯科健康診査事業、健康診査事業、特定健康診査等事業などによる病気の予防・健康増進策により市民の健康力を増進し、保険2会計全体の1人あたり給付費を抑制します。     | がん検診事業<br>成人歯科健康診査事業<br>健康診査事業(一般)<br>特定健康診査等事業<br>健康診査事業(国保) | 保険2会計全体の1人あたり給付費  | 489,316   | 561,657   |
| 高齢者が在宅のまま安心して生活を営める環境を整備するとともに、適切な介護認定と介護予防の普及・啓発及び在宅介護サービスの充実等により、施設入所を必要とする要介護者の増加を抑制します。   | 介護施設入所者割合を抑制するため、介助者支援や認知症高齢者の支援、はり・きゅう・マッサージ助成券及び寝たきり高齢者出張理容・美容サービス利用券の助成などを行います。<br>また、高齢者の生活支援、健康増進や社会参加を目的に、県立保健福祉大学と連携し、高齢者の生活実態の問題点の調査による地域ニーズの把握、社会実装型の製品サービス開発拠点(リビングラボラトリー)での企業と地域課題のニーズ・シーズマッチングや未病を治すための健康指導教室等を行います。 |  | 介護施設入所者割合(入所者数/介護被保険者数)  | 2.6   | 2.6%  | 高齢者福祉サービス事業<br>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業<br>家族介護支援事業<br>三浦を元気にするリビングラボラトリー |   |   |
| 市有財産について管理コストと貸付料等収入とのバランスがとれた適切で効率的な管理・運用を実践します。   | 市有財産の老朽化対策として、公共施設の維持管理を図るため、平成28年度に公共施設総合管理計画を策定し、計画を推進します。   |  | 公共施設総合管理計画の策定(28年度。29年度以降のKPIは、28年度中に設定予定)   | 未策定   | 策定  | 公共施設総合管理計画策定事業  |   |   |
| 市内に所在する空き家について、空家対策特措法を踏まえ、対策を行います。   | 空き家の実態把握のための調査及び適正に管理されていない空き家の対策を行います。  |  | 適正に管理されていない空き家の減少率   | -4%(H27年度比)   | %   | 空き家等実態調査事業  |   |   |